

兵庫県がん診療連携協議会・研修教育部会主催「乳がんセミナー」

テーマ：「乳がん治療の最前線」

日時：平成26年11月29日（土）14：00－16：30（開場 13：30）

会場：神戸市勤労会館 大ホール

〒651-0096 神戸市中央区雲井通 5-1-2

TEL.078-251-0757・FAX.078-241-9114

目的：「乳がん治療の最前線」をテーマに、外科治療及び薬物治療の最新情報、術後のリンパ浮腫対策の取組み、乳がん治療における歯科口腔外科の役割についての講演と意見交換を行い、乳がん治療についての理解を深める

対象：医療関係者

主催：兵庫県がん診療連携協議会・研修教育部会

後援：兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、兵庫県看護協会

（敬称略）

開会あいさつ：兵庫県がん診療連携協議会 議長

（兵庫県立がんセンター 院長）

足立 秀治

講演Ⅰ：座長：神戸大学医学部附属病院乳腺内分泌外科特命准教授

田中 優子

兵庫県看護協会 常務理事

安部 陽子

1. 「当院における乳癌外科治療の実際」（質疑含めて45分）

四国がんセンター臨床研究推進部長

青儀 健二郎

2. 「リンパ浮腫対策のとりくみ」（質疑含めて20分）

神戸大学医学部附属病院認定看護師

辻 サオリ

休憩（約10分、時間調整）

講演Ⅱ：座長：神戸大学医学部附属病院腫瘍・血液内科 教授

南 博信

兵庫県立がんセンター 歯科口腔外科部長

赤澤 登

3. 「乳癌薬物療法の最新情報」（質疑含めて45分）

京都大学大学院医学研究科標的治療腫瘍学講座 特定准教授

石黒 洋

4. 「乳がん治療における歯科口腔外科の役割」（質疑含めて30分）

神戸低侵襲がん医療センター歯科口腔外科医長

片岡 智子

閉会のあいさつ：

研修教育部会長（兵庫県立西宮病院 副院長）

小林 研二